田辺市バリアフリー基本構想の第1回パブリックコメントのまとめ

1　意見募集の結果

（1）期間　　平成20年1月30日（水）～2月13日（水）

（2）意見者数　　2人（電子2人）

（3）意見総数　　3件

2　意見の概要と市の考え方

		意見の概要	市の考え方
1	男性　60代	アンケートで意見の出ているハード面での実現は財政的にも難しいところが多いと思うので、ソフト面の「愛の一声」にもっと力を入れてほしい。市職員はもちろん市民あげて、市民の目線、相手の立場に立った親切なサービスの面の充実した「心のバリアフリー」の街に、市行政あげて取り組んでほしい。	策定予定の田辺市バリアフリー基本構想は、バリアフリーのまちづくりには、建築物、道路等のハード面でのバリアフリーだけでなく、ソフト面である「心のバリアフリー」についても、大切であることの位置付けを行っています。 高齢者や障害者に対する理解を深め、市民、行政が一体となったまちづくりにつながる基本構想となるよう策定します。
	男性　60代	アンケートの回答や自由意見をもとに計画をつくり、財政面、道路拡幅等難題が多くあるので、年次目標を立て実現に向けて取り組んでほしい。	基本構想では、アンケート、現地調査等をもとにして、バリアフリー整備計画を作成し、具体的な整備内容をあげるとともに、その整備時期を短期（平成22年度まで）、中期（平成23～27年度）、長期（平成28年度以降）の3つに分けて示すことにしています。 また、策定後についても、その基本構想の進捗状況の確認等に関わる協議会を設ける予定にしています。
2	女性　30代	障害のあるなしにかかわらず生活できることがバリアフリーで、保護よりも、自立の支援に置くのが理想。障害者が健常者と同じ行動を取るのに労力や時間をかけなければならないのが「バリア」で、その視点を重視してほしい。	バリアフリー基本構想は、高齢者、障害者等の自立した日常生活や社会生活を確保するために、一定の地区における旅客施設や公共施設及びそれらを相互に結ぶ道路等のバリアフリー化に取り組む事業を定めたものでありますので、ご指摘の障害者の自立の視点から、ハード、ソフトの両面にわたる構想の策定に取り組みます。

田辺市バリアフリー基本構想の第2回パブリックコメントのまとめ

1　意見募集の結果

（1）期間　　平成20年2月28日（木）～3月12日（水）

（2）意見者数　　2人（電子1人）

（3）意見総数　　2件

2　意見の概要と市の考え方

		意見の概要	市の考え方
1	男性　60代	重点整備地区の中には、現在、計画されている「複合文化施設」の建設予定地があるが、完成すれば、多数の市民が利用する施設となる。また、その施設までの道路が非常に通りにくく、危険性が潜んでいては、大変なことである。近い将来に完成する新しい施設への改善についても、計画に掲げて、移動円滑化が図られなければならないものと思う。	田辺市では、基本構想の策定に当たり、高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する既存の旅客施設、官公庁施設、福祉施設等を生活関連施設として、また、その生活関連施設相互を結ぶ道路等を生活関連経路として、移動等円滑化(バリアフリー化)のために実施すべき事業を定めることにしています。そのため、紀南病院跡地に計画しています「複合文化施設」及びそこに至る道路については、基本構想には含めておりません。しかし、建設予定の「複合文化施設」につきましては、バリアフリーの視点での建設は当然のことでありますので、ご意見を踏まえ、対応してまいります。
2	男性　30代	JR田辺駅のトイレを直すなら障害者トイレをもう少し広くして、オストメイト対応にし、また、男女各一つずつ手洗いの近くにベビーベッドを設置し、男女各個室に折りたたみ式の小さい子供を座らせて待たせられる器具を設置、また別に近くに授乳室もあれば尚いい。	JR紀伊田辺駅の障害者用トイレについては、駅構内では新築、駅構外では改善の計画があります。いただいたご意見については、事業者にお伝えし、整備にあたっての参考にさせていただきます。